

ASTRE QUARTET

アストル カルテット

弦楽四重奏団演奏会
～室内楽の夕べ～

2020年 6月25日(木)

開演 19:00 (開場18:30)

大田文化の森ホール

全自由席 1,000円 (未就学児不可)

ハイドン

弦楽四重奏曲 第78番 変ロ長調
Op.76-4 『日の出』

相澤洋正 『夢宵桜』

スメタナ

弦楽四重奏曲 第1番 木短調
『わが生涯より』

violin I 物集女純子
violin II 飯島多恵
viola リチャード・エレジーノ
cello 只野晋作

チケット発売開始 2020年3月25日(水) 10:00

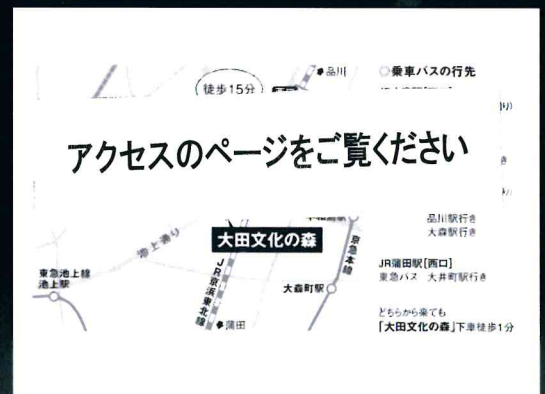
チケット販売場所 大田文化の森 TEL 03-3772-0700
大田区民プラザ TEL 03-3750-1611
大田区民ホール・アプリコ TEL 03-5744-1600

オンラインチケット **イープラス** <https://eplus.jp/>

■イープラスで予約、ファミリーマートまたはセブンイレブンで支払い&受取りにすると手数料が無料になります

【お問合せ】 平日 9:00-17:00
(祝日・大田文化の森休館日を除く)

大田文化の森運営協議会
Tel 03-3772-0770 / Fax 03-3772-0704



大田文化の森運営協議会ホームページ

<https://www.bunmori-unkyo.jp/>

出演者プロフィール



物集女 純子 *violin*
Junko Mozume

ジュリアード音楽院卒業。同大学院及びプロフェッショナルスタディーズ修了。ゴードン=ヴァイオリン奨学金を受け、故ドロシア=ディレイ女史に師事。これまでにヴァイオリンを海野義雄、水野佐知香、川崎雅夫の各氏に、室内楽をフェリックス・ガリミア、ポール・ズコフスキー、ジュリアードカルテットのメンバー、の各氏に師事。在学中、ジュリアード音楽院管弦楽団コンサートマスター、ウエストチェスター響コンサートマスターを務める。アスペン音楽祭では、9年間連続フェローシップ(全額奨学金)を受け、アスペン音楽祭祝祭管弦楽団とドヴォルザークの協奏曲を共演。1991年、最も期待される若手演奏家に贈られる、ニューヨーク・アーティストインターナショナルオーディションでヤングアーティストデビュー賞を受賞。カーネギーホール(ウェイルリサイタルホール)にてニューヨークデビューを飾る。帰国後、東京でのリサイタルは音楽雑誌等で賞賛を受ける。ゲストコンサートマスターとして、国内各地の主要オーケストラに招聘されている。室内楽奏者としても様々なアーティストと共演。国内外の音楽祭にも多数出演している。また、ソリストとして、国内外のオーケストラと共演。東京フィルハーモニー交響楽団と共演したモーツァルトの協奏曲第3番はNHK-FMより全国放送される。近年では、ロシア各地のオーケストラに客演を重ねている。2017年、ロシア・ブリャンスクに於いて、ブリャンスク州立シンフォニーオーケストラに客演。2019年、ロシア連邦カレリア共和国のペテロザボーツクに於いて、カレリア・フィルハーモニー管弦楽団とスタジオ録音。同年、ロシア・サンクトペテルブルグに於いて、サンクトペテルブルグ・シンフォニーオーケストラに客演。いずれも、チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲を共演。気品溢れる演奏でロシアの聴衆を魅了し、万雷の拍手を受け、地元メディアにも取り上げられた。2017年より、横浜みなとみらいホール(小ホール)にて、自身がソロ・コンサートマスターを務めている東京室内管弦楽団と共に「Violin Lover's」と題した、ヴァイオリンの魅力に迫るコンサートシリーズを始動。これまで同シリーズの公演を3回開催され、サン=サーンスの協奏曲第3番、チャイコフスキーの協奏曲、パガニーニの協奏曲第1番、他、ヴァイオリンの名曲の数々を名演。同団のDEGAレーベルより、CD『Violin Lover's Vol.1』をリリースし好評を博す。カントゥスカルテット、ヴィルトゥオーゾ横浜、各メンバー。東京室内管弦楽団ソロ・コンサートマスター。洗足学園音楽大学講師、横浜音楽文化協会会員。

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。全日本学生音楽コンクール入賞。在学中、同大管弦楽団の欧州演奏旅行にソリストとして参加。皇居桃華楽堂の御前演奏会に出演。NHK洋楽オーディションに合格しFMに出演。スイスの国際メニューヒン音楽アカデミーに奨学生として留学し研鑽を積む。かわら「カメラ・リシー」のメンバーとしてヨーロッパ各地で演奏活動を行う。1995年、ドイツ・デュッセルドルフにおけるクルトヴァイルフェスティバルに出演。現在、アンサンブル コルディエ、アンサンブル マーレ、ブーケ・デ・トン(音の花束アンサンブル)などで活動を展開している。2011年、協同医書出版社より脳科学者 森岡 周氏との共著「脳を学ぶ③ アンサンブル グループ ブーケ・デ・トンとの対話」を出版し、それを機にブーケ・デ・トンのファーストアルバム「Anthologie」をリリース。2018年、セカンドアルバム「Nos liens」をリリース。現在武蔵野音楽大学、同附属古田音楽教室講師。兔束龍夫、ルイ・グレーラー、R・マスター、A・リシー の各氏に師事。



飯島 多恵 *violin*
Tae Iijima

Astre Quartet

アストル カルテットは大田パシフィック・チェンバー・プレイヤーズ(リチャード・エレジーノ音楽監督)のメンバーによって結成された室内楽ユニットです。ASTRE(アストル)は、フランス語で「天文」という意味です。音楽の持つ心を癒す力は、宇宙にある無数の星のよう無限に広がります。私たちの奏でる音色がお客様ひとりひとりに届きますように...

日本で浅妻文樹氏に師事。72年に渡米し、L. キープマン氏とV. パーストウ女史に師事。ロスアンジェルス主要ユースオーケストラの首席ヴィオリストを務めた後、テレビ・ハリウッド映画音楽界で活躍。80年、ロスアンジェルス・フィルハーモニックに入団。ソロリサイタル、室内楽、及び映画音楽の場で活躍を続け、特に日本では小学校、特別支援学校、病院でのボランティアコンサートに力を注いでいる。2000年、「サウンドアンビション大田」「羽田空港コンサート」に客演。指揮者としては、02年に同時多発テロ犠牲者の追悼コンサートを企画、開催。2003年に大田パシフィックチェンバープレイヤーズ(室内オーケストラ)を結成し、大田区立の小、中学校に通う生徒とその家族を対象に『親子でクラシック』のテーマで無料コンサートを5年間開催。2011年には東日本大震災チャリティコンサートを企画、開催。

リチャード・エレジーノ *viola*
Richard Elegino



武蔵野音楽大学にてチェロを清水勝雄、室内楽を磯良男、ルイ・グレーラー、ウルリッヒ・コッホの各氏に師事。卒業と同時に1992年まで財)日本フィルハーモニー交響楽団にて活動。その後公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団に入団、2019年現在フォアシュビーラー(次席奏者)。横浜英和女学院オーケストラ部、音楽総合クラブなどでチェロ及び室内楽の指導にあたる。ヤマハ銀座店でのレクチャー・コンサート『チェロは面白い!』等のソロ活動と共に、「リ・アルベリトリオ」「ステラ五重奏団」、近年では「横浜弦楽五重奏団」等で室内楽活動を行っている。また、『和と洋の響きの融合』を目指し、川崎絵都夫の作品集CD「歓びの樹」「神の風音」(企画/制作Bamboo)に参加。「歓びの樹」収録曲のひとつ「せせらぎの詩」(1992年日本フィル協会委嘱作品)を、全国十数か所で演奏し好評を博す。日本を代表する邦楽器奏者とのアンサンブルにも力を注ぎ、現代邦楽の新作初演を数多く手がけている。特に箏奏者の石川憲弘氏とはこれまで様々な演奏会で共演し、2018~19年には東日本大震災復興支援の一環として、気仙沼医師会付属高等看護学校に向けたチャリティーコンサートに出演し、2019年10月にはデュオアルバム「二重奏の新しい世界」を企画・作成した。



只野 晋作 *cello*
Shinsaku Tadano

Astre Quartet